

まちづくりの主役は市民一人ひとりです



木更津市議会議員 田中のりこ

通信 みんなのひろば

No.13

発行: 通信 No.13 2026 年初夏号
田中のりこことみんなの会
TEL : 070-2172-8480(連絡・活動用)
MAIL : tanaka-noriko@live.jp



ブログ



facebook



みんなの会HP

私たちの飲み水は どこからくる?

おほらがわ 処分場直下の御腹川上流域 ふるさとの水を守る会水質検査 高濃度塩化物イオンやPFAS 検出

千葉県は
「増設の申請」も受理
許可はまだしていません



飲み水はどこから 絵/市原市在住 元県議会議員の山本友子



わたしたちの飲み水は

木更津市民の水道水・農業用水に使われる小櫃川・御腹川の水源には、巨大な産業廃棄物処分場があります。

1 番目にできた処分場で PFAS の漏洩が発覚しましたが、13年経った今も漏れ続けています。

そして、漏洩事故が解決されないのに、番目の処分場が新たに増設されようとしています

千葉県は、事業者からの増設の申請を受理しました。まだ、許可されていませんが、千葉県は、許可しようとしています。

このことを多くの市民に知ってほしいと思い、「いのちと水の楽集会」を開くことにしました。ぜひ、お誘いあわせの上、ご参加ください。

いのちの水の楽集会

6月1日(月) 10:00-11:45

資料代 200円(18歳以下無料)

八幡台地域交流センター(旧公民館)にて

10:00-10:45 ふるさとの水のお話 鳥海文和

10:50-11:15 小さな演奏会 稲田 明

11:20-11:45 感想&意見交換 飲み物も用意し、お待ちしております。

予約 070-2172-8480(連絡・活動用)

予約なしでも参加可能。ただし、用意した資料が不足する場合は予約の方優先。

主催:田中のりこことみんなの会 協力:ふるさとの水を守る会

ふるさとの水を守る会 紹介

2019年3月に、農業者の水利組合7団体、御腹川と久留里地区の水を守る会(久留里地区20自治会)、ちば水源愛護会、小櫃川の水を守る会の10団体で「ふるさとの水を守る会」を結成しました。

千葉県も、当該処分場がある君津市も、「国の水質検査項目に現在PFASは含まれていない」という理由でPFASの測定をしないので、「ふるさとの水を守る会」で水質検査をしました。

処分場直下の御腹川上流域で

高濃度塩化物イオンや PFAS 検出

320ng/L(2024年12月)

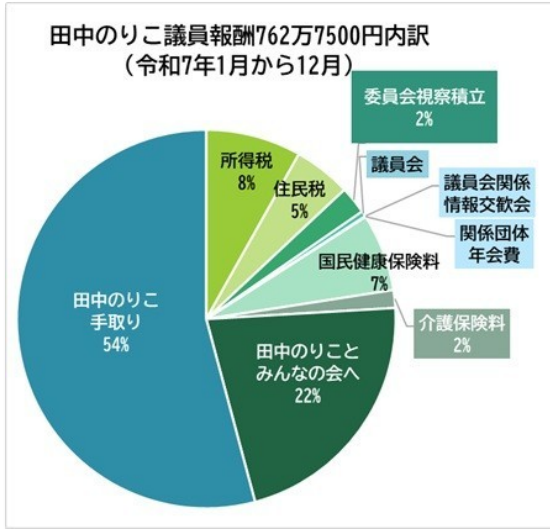
460ng/L(2025年2月)

国が定める暫定目標値「50ng/L」を大幅に上回る!!

(PFASの水質検査基準がある米国の基準値は「4ng/L以下」に定められ、基準の目安も「2ng/L以下=安全」、「2~20ng/L 未満=マイナス評価」、「20ng/L以上=健康被害の恐れ」としながらも「PFASは限りなくゼロである事が好ましい」)

市民目線で暮らしと政治をつなぐ

田中のりこの令和7年分の議員報酬の使い道



田中のりことみんなの会 令和7年 主な支出

人件費	24.1万円
議会速報(年4回)や通信(年4回)発行	94.5万円
宣伝事業費(HP更新)	7.7万円
調査・研究費(決算審査小冊子)	4.4万円
その他	4.2万円

※ 政務活動費・・・議員報酬とは別に、会派に2万円/月が交付され、使い道が決まっています。年度末に残金がある場合は返金します。

田中のりこから市民の皆様へ ご報告 2つ



1. 政務活動費※を活用し、毎年、研修や調査活動をしてきましたが、昨年度は残金がありました。活動が足りなかったわけではなく、オンライン研修にしたことで、交通費や宿泊費を節約したためです。
2. 田中のりこ(四期)は、議員になって15年間、ずっと議会では一人会派で活動してきましたが、今年度は、堀切俊一議員(二期)、ふじた真澄議員(一期)の3人で会派「共創・実りの会」を結成しました。一人会派ではできなかったことにも挑戦します。



暮らしに香る本シリーズ ③

無医村に花は微笑む

将棋面 誠(しょうぎめんまこと)

1982年(S57)、将棋面 誠氏(45歳)は、妻(39歳)と小5、小6、中2の三人の息子と共に岩手県田野畑村(たのはたむら)の国民健康保険直営診療所の医師として赴任した。これは氏が千葉大医学部を卒業して医者になり、20年間病院勤めをして得た結論だった。

村への着任を決め、子どもの転校の手続きもすませ、引越しの準備を進めていたある日、妻が病で倒れたが、一家は計画通り田野畑村に移り、妻は月に一度、木更津の家に帰って東京の病院まで検査のため通った。

妻は行く決めてからは迷うことなく、村の住人達に土産代わりに梅の苗木をもっていきたく、トラック半台分を買い集め、村に入ると病気を感ぜさせない勢いでどんどん村に溶け込んでいった。けれども妻は7年後の1989年(H元)に亡くなった。木更津での葬儀には、田野畑村の村長始め、200人の住人がマイクロバスに分乗し、8時間かけて参列した。

1987年(S62)には田野畑村で専門医たちによる総合健康診断が行われ、村民の一割近い500人が受診した。千葉大医学部の同級生が「へき地で奮闘している将棋面君の手助けをしよう」と全科にわたる移動総合病院の話をもとめたのだ。「第48回保健文化賞」という権威ある賞も受けて、19年間の村医勤めを終えた。

木更津に戻ってからも医院で手伝ったと自著にあるが、私は2018年(H30)風邪で酒井医院に於いて、氏の診察を受けている。私の行きつけの病院でなかったから1回きりの出会いだったが、90歳で今もお元気でいらっしゃるかしら。(宮下)

●△◆お知らせ伝言板○▼◇ 070-2172-8480(予約・連絡・活動用)

木更津市と地域包括支援センターの職員による、きさらづ出前講座

「知っ得!! 介護保険のしくみと利用方法」

参加費 無料

6月23日(火)9:30~11:00

八幡台地域交流センターにて

予約なしで当日参加もできますが、用意した資料が不足する場合は予約の方優先

主催:田中のりことみんなの会

総会と記念講演

戦争と人間の尊厳
~国内外の取材から考える~
安田奈津紀さん
(フォトジャーナリスト)



6月27日(土)

参加費 無料

13:30~16:00(講演開始 14:10)

会場:木更津中央地域交流センター(旧公民館)

多目的ホール 3F

主催:平和・人権・教育と文化を考える会

教育のひろば

教育現場の教師からのつづやき⑬

4月の決意

例年のことながら、4月は身が引き締まります。▶新しい出会い、スタートがうまく行きますように!▶生徒たちと早く心を通わせる事ができますように!▶授業パフォーマンスをこれまでより向上させて展開できますように!▶一人も欠けることなく、進級させる事ができますように!▶そして、優しく穏やかな先生で年を過ごせますように!▶と、願うことはいろいろありますが、それを実現させるのは私自身の学び、努力次第だと思います。そして、その姿を見て、生徒たちも何かを感じ、学び、努力する人になって行くのだと信じています。

3月に会いに来てくれた卒業生たちの言葉が私を後押しし、支えてくれています。そんな卒業生たちの存在に感謝です。今年も生徒たちと楽しく、ガンバルゾー。

(YAPPY)

地域限定のイベントのため、この部分の案内は掲載していません。



このスペースには、地域限定でのイベントを案内しています。

インターネットで公開の紙面は一部カットしています。ご了承ください。